

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

※外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物

荒川の草花のたねの授与式を実施 上尾市立平方北小学校

5月20日(金)、今年度から「荒川の草花を育てようプロジェクト」に参加する上尾市立平方北小学校において、全児童や保護者有志が参加のもと、荒川の草花のたねの授与式が開催されました。平方北小学校は、今年度、開校40周年の記念事業として、本プロジェクトに

参加します。

当日は、荒川上流河川事務所所長から平方北小学校の児童代表に「キンミズヒキ」「イヌタデ」「チカラシバ」「メハジキ」の4種類のたねが手渡されました。



荒川の草花のたねを授与



挨拶をする上尾市教育委員会教育総務部長(左)と、荒川上流河川事務所所長(右)



熱心に話をきく児童



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集！】

自然を守る作業や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています！



荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

三ツ又沼の自然の大切さを学ぶ

川島町立出丸小学校

5月11日(水)、(サブ)環境サポーターが講師となり、川島町立出丸小学校5年生が三ツ又沼ビオトープや荒川の自然について勉強しました。今年も一年間、ハンノキや荒川の草花を育てていきます。



荒川の草花を育成中

上尾市立太平中学校

今年も科学部に所属する6名の生徒のみなさんがプロジェクトに参加します。学校の校庭で、ハンノキや荒川の草花のひとつキンミズヒキが育てられています。このまま順調に育成できたら、今年の12月頃、三ツ又沼ビオトープにハンノキを植え戻す計画を立てています。



荒川の草花の育てやすさを調べる実験開始

埼玉県立いずみ高等学校

5月18日(水)、生物サイエンス科の2年生が、今年も荒川の草花の育てやすさを調べる実験を開始しました。今年の対象はカモジグサとアキノエノコログサです。事前に実験のねらいや留意点の説明を聞いた上でたねまきを行いました。



いろいろな方が関わっています

三ツ又沼ビオトープに残された荒川の貴重な自然を守るために、いろいろな方々が三ツ又沼ビオトープに関わっています。



株式会社 武蔵野銀行 新人研修で外来植物を除去

4月11日(月)と18日(月)に、三ツ又沼ビオトープで武蔵野銀行の新入行員133名の研修が行われ、外来植物であるセイヨウアブラナやオオアラセイトウなどの抜き取りをしました。活動を通じて、埼玉県の身近な自然の問題や、ボランティア活動の大切さについて学びました。



荒川の自然を守る会 上尾の自然を守る教職員の間

5月15日(日)、毎月数回行っている定例活動を、会員と一般参加の方と一緒にしました。内容は外来植物の抜き取りなどの自然を良くするための活動と自然観察会でした。湿地エリアでは、白い綿毛のついたヤナギの種子「柳絮(りゅうじょ)」が雪のように舞っていて、とてもきれいでした。思わぬ風物詩に参加者の皆さんも喜んでいました。



埼玉県生態系保護協会上尾支部 エンハンスネイチャー荒川・江川

毎月最終土曜日に活動しています。継続的な外来植物抜きにより、クサフジやハナウドの花が咲くようになりました。5月28日(土)は、クワ伐り、セイトカアワダチソウやハルジオンなどの外来植物の抜き取りなどを行いました。過去に植栽した荒川の草花であるセンニンソウやカワラナデシコの成長を助けるための手入れも実施しました。

※上記団体の今後の活動日はボランティア案内のチラシをご覧ください。